

青梅市の下水道

～役割・今・未来～

青梅市では、自然と環境を保ち
清潔で快適な生活を守るため
下水道事業を実施しています

青梅市下水道事業の取り組みを
ぜひご覧ください！



作成：令和8年8月



青梅市
下水道事業

1. 下水道が守る自然と環境 ～役割～

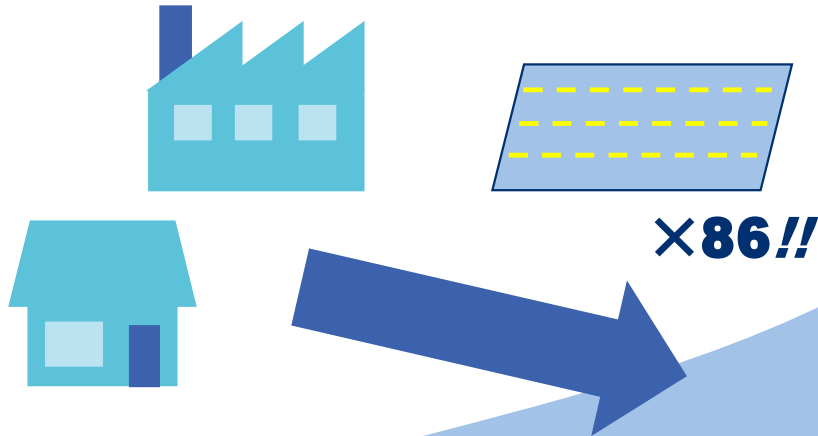
下水道には、どんな役割があるの？



きれいな川と、清潔で衛生的な暮らしを守るため
生活排水等の下水を処理してから
川へ戻すのが下水道の役割です



青梅市で、1日に流される下水は、平均して36,614,000リットル！※1
25メートルプール換算で、なんと約86杯にもなります！



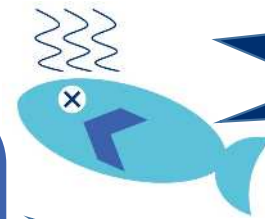
家庭のお風呂やトイレ、台所のほか
オフィスや事業所等から出た下水から
ごみや汚れを取り除き消毒する
処理をして、川に返します

もしも下水を、
そのまま川に流したら…

立ち上る悪臭！

洗剤で泡だらけ！

魚が泳げない
川に！



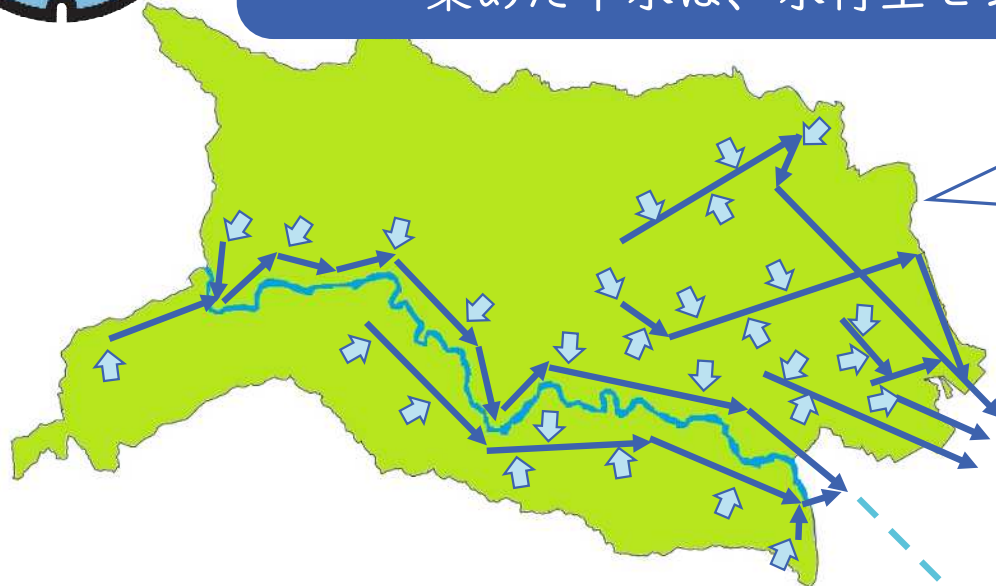
※1 令和6年度青梅市下水道事業決算書より



2. 青梅市の下水道ネットワーク ～今～

下水はどうやって処理しているの？

各家庭などから出た下水は、市内に張り巡らされた
下水道管を通して集められます
集めた下水は、水再生センターで処理されます



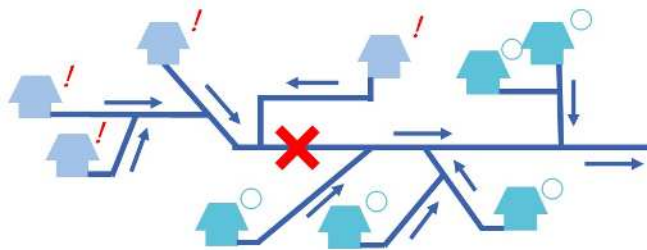
市内には、道路の下を通して、網の目のように、下水道管が張り巡らされています。
各家庭などからの下水がで示した下水道管に流れこみ、集められます。

青梅市内の下水道管の総延長は、なんと、
約600km※2

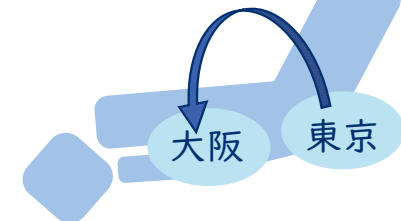
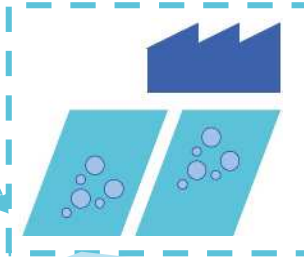
青梅マラソン20回分！ 一本につなげば、
青梅駅から大阪駅まで届いてしまいます

下水道管が詰まったり、破損したりすれば、そこから
上流の家が下水を流せなくなってしまいます。

お風呂や
トイレが
流せない！



そんな状況を未然に防ぐため、
日々点検・清掃などの維持管理を行っています



東京都 多摩川上流水再生センター（昭島市）
青梅だけでなく、6市2町の下水を集め
多摩川に戻せるよう、下水を処理しています



青梅市
下水道事業

2. 青梅市の下水道ネットワーク ~今~

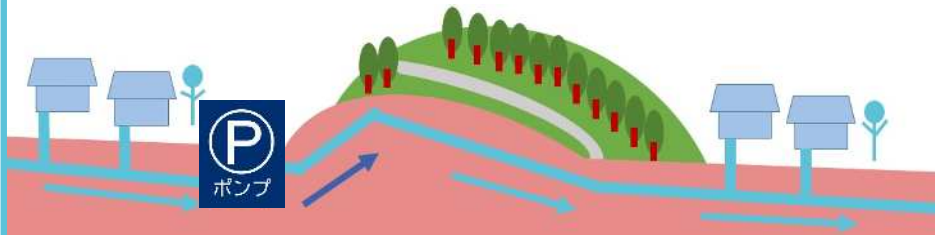


下水道管があれば、後は自然に流れていくの？

坂の下など、低い土地では、ポンプを動かして下水を押し上げて流しています



平坦だったり、下り坂であれば、下水は自然と流れていきますが、山を越えたり、坂を上ろうとすると、ポンプで押し上げなければなりません。



ポンプは、設置するのにも、動かすにも、お金がかかってしまいますが、下水を流すためには必要不可欠です。

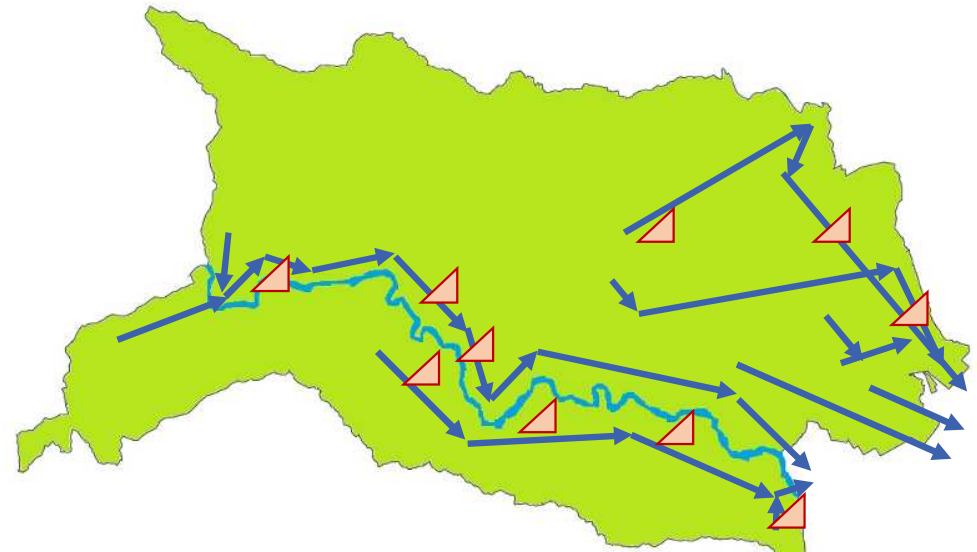
ところが、下水の中に、水に溶けない布やティッシュペーパーのようなものなどが混ざっていると、詰まったり絡まったりして、ポンプが壊れてしまいます。



ポンプが詰まったり壊れたりすると、その分、さらにお金もかかります
異物を流さないよう
ご協力ください

青梅市は、市域が広く、起伏が多い地形です。
多摩川沿いに下っていただくだけでも、
ポンプで押し上げなければなりません

市内のポンプ施設は、大小合わせて104箇所！



スムーズに下水を流せるよう、
数多くのポンプを活用しています



青梅市
下水道事業

2. 青梅市の下水道ネットワーク ～今～



下水道以外に下水を処理する方法はあるの？

多摩川上流水再生センターで下水を処理する区域と、
浄化槽で下水を処理する区域があります



一軒一軒の家が遠く離れている場合は、それぞれの家に下水道管を引くよりも、その場で下水を処理する方が効率的です。

このような区域では、下水をその場で処理する、「浄化槽」を各家に設置して、下水を処理しています

人が密集して住んでいるところでは、1本の下水道管で、たくさんの下水を集められますから、下水道の仕組みはとても有効です

地域の特性に合わせて、
最適な方法で、
下水を処理しています

- : 下水道で処理する区域
- : 浄化槽で処理する区域



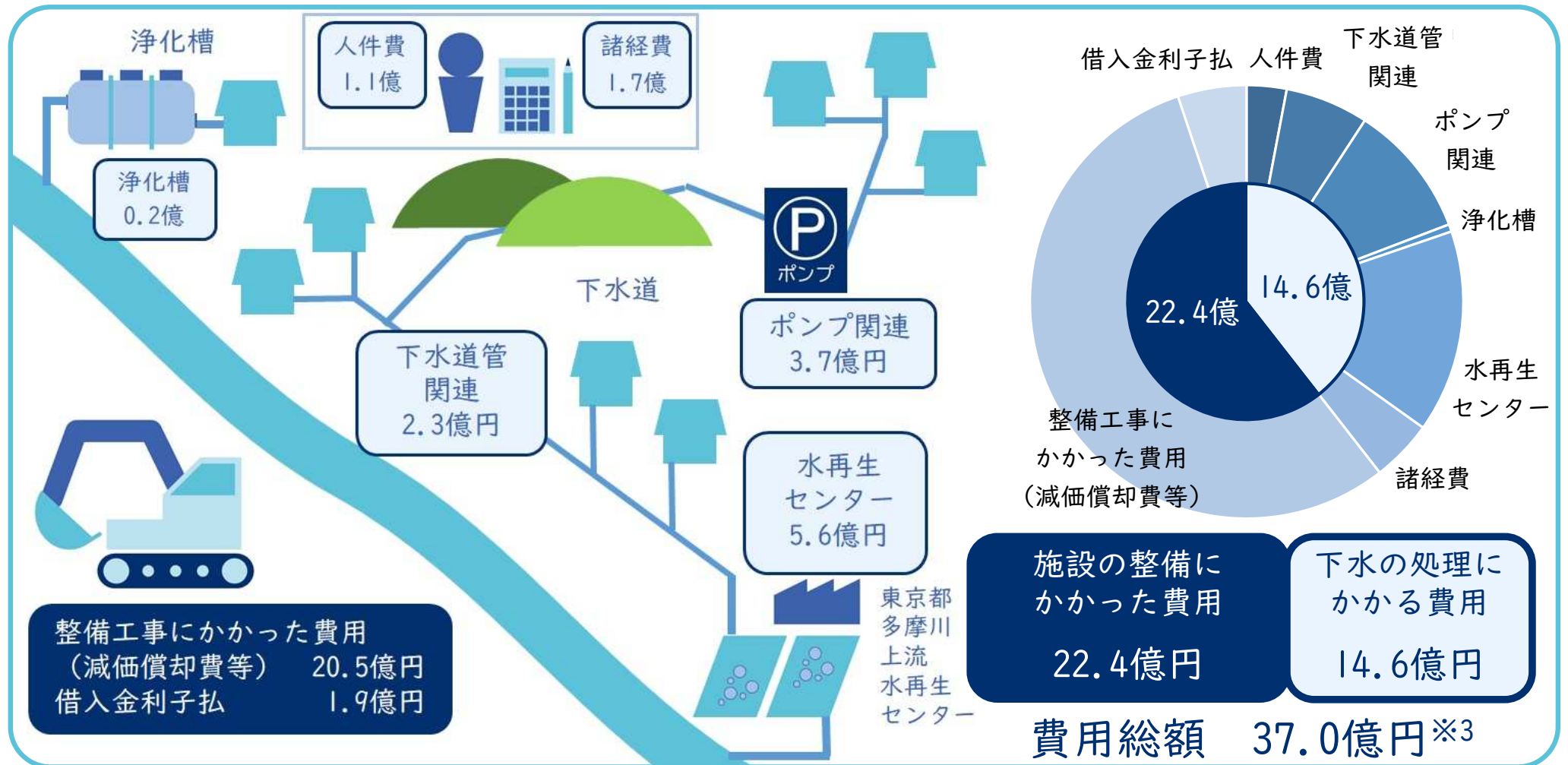
青梅市
下水道事業

3. 下水道と浄化槽-環境を守るためにかかるお金 ~今~



下水道にかかるお金はいくらで、何に使われているの？

下水道管やポンプなど、施設の整備にかかった費用のほか
下水を処理して川に戻す費用に使われます
いくらかかるか、令和6年度の数値を見てみましょう



※3 令和6年度青梅市下水道事業決算書より抜粋

※3 金額は収益的支出の額で、消費税抜きの額



東京都青梅市
下水道事業

3. 下水道と浄化槽-環境を守るためにかかるお金 ~今~

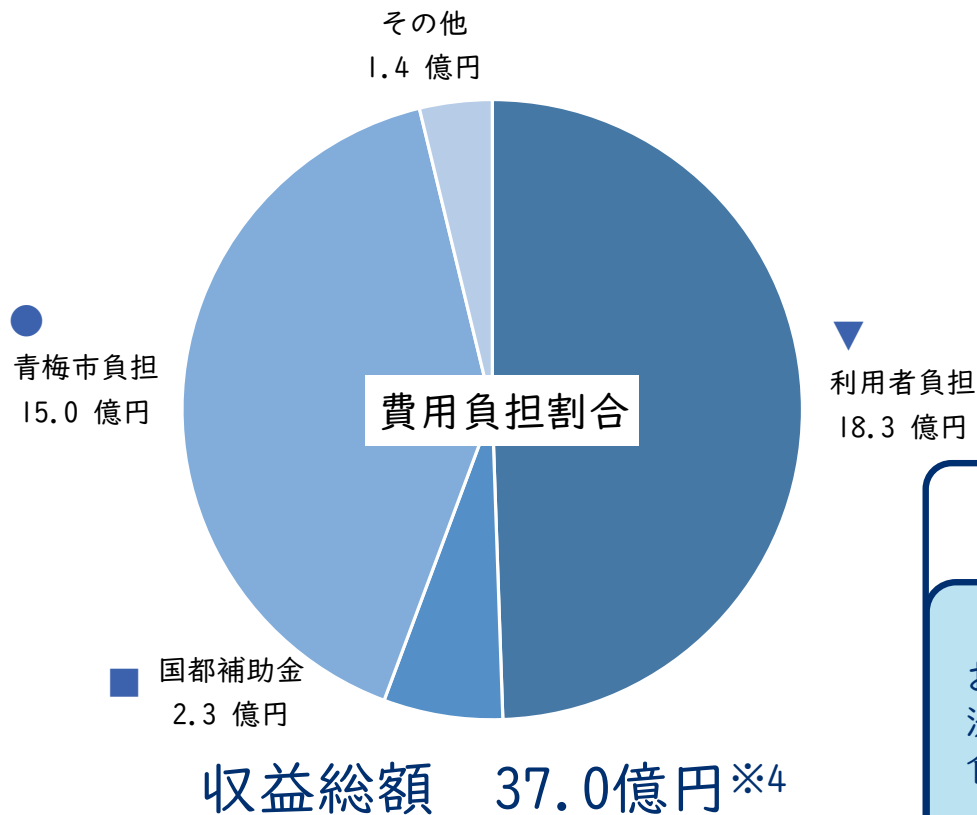


下水道にかかるお金は、誰が払っているの？

市民の皆さんに下水道使用料として負担して頂いているほか
国・都の補助金を活用し、
青梅市も一定割合を負担しています



令和6年度の収益的収入にみる 費用負担の割合



- 下水道を整備することで、川をきれいにしたり、疫病の発生を防ぐという、市民全員の利益になるので、その相応分を、青梅市が公費で負担しています。
- 下水道を作ることで、自然環境や治水に役立つため、下水道の工事にかかる経費について、一部を国や都が補助金・交付金という形で負担しています。
- ▼ 各家庭やオフィス、工場などから流れる下水には、流した分だけ、下水の処理に費用がかかるので、下水を流した利用者に、その費用を、下水道使用料として負担していただいています。

利用者あたりの負担額は
月当たりの下水の量で変わりますが、例えば…

(例) 1日当たりの水量
お風呂 550リットル
洗濯 30リットル
食事・飲料 10リットル
トイレ等 80リットル

×30日=20,100リットルなので
月当たりで、20立方メートル

この例では、下水道使用料として
2,126円/月 (税込)

ご負担いただいています

※4 令和6年度青梅市下水道事業決算書より抜粋

※4 金額は消費税抜きの額



東京都青梅市
下水道事業

4. 将来へ下水道を残すために ～未来～

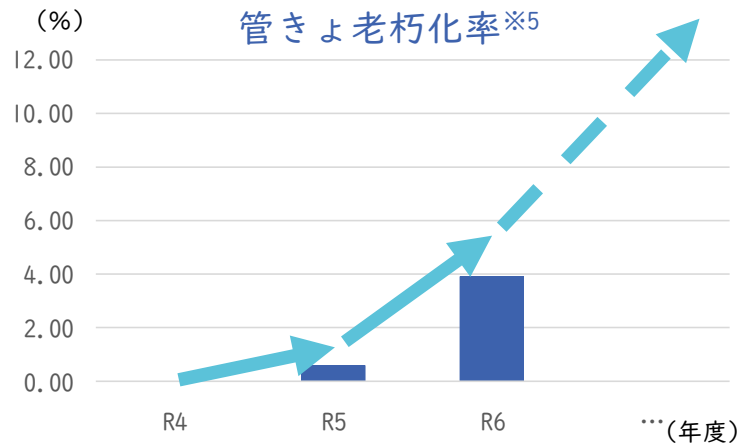
下水道はこのまま使い続けられるの？



快適な生活に必要な下水道を使い続けるためには
古くなった下水道管やポンプの更新や維持管理が必要です
また、そのための費用は、今後上昇していく見込みです



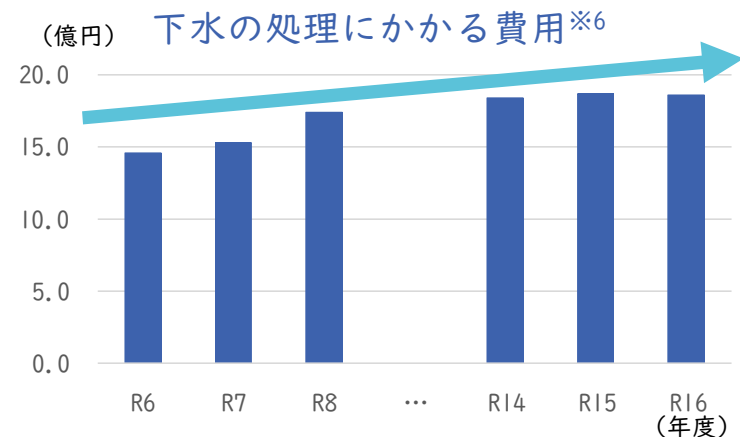
青梅市の水洗化率は99パーセント！
下水道管やポンプは市内に充分届いたけれど
古くなってくると、更新が必要に！



下水道管は、設置してから50年を超えるものが
急激に増えていくことになります

今後は、下水道を新たに普及させる工事よりも
今ある下水道管やポンプを更新して
事故やトラブルを防ぐ工事が主になっていき
更新費用がかかっていく見込みです

下水道管やポンプを使い続けるには
下水の処理にかかる費用に含まれる
清掃や点検といった維持管理が大事！



下水道管やポンプを長く使い続けるためには
定期的な清掃や点検が大切です

下水の処理にかかる費用には、水再生センターの
費用のほか、清掃・点検等の費用も含まれていて
物価上昇等の影響で

令和16年度には、約18億円まで上がる見込みです

※5 令和6年度青梅市下水道事業決算書より抜粋

※6 青梅市下水道事業経営戦略（令和7年11月改定）をもとに積算



4. 未来へ下水道を残すために ～未来～

将来にわたって持続可能な下水道サービスを提供していくため
青梅市下水道事業経営戦略を定めており

計画的、かつ、より効果・効率な運営を目指してまいります
下水道を維持していくためには、使用料の引上げも必要になりますので
皆様のご理解、ご協力をお願いいたします



(億円)



下水道事業は、地方財政法により、
下水道使用料によって経費をまなか
い、事業を運営していくこととされ
ています。

そのため、青梅市下水道事業経営戦
略においては、今後の下水道事業で
必要となる費用を賄えるだけの収入
を確保するように、計画を定めてい
ます。

下水道事業の今後の取り組み

◎施設の規模の最適化を進め、更新費用や下水の処理にかかる費用の
節減に努めてまいります

◎今後、必要な収入を確保するため、下水道使用料の引き上げを想定しています



東京都青梅市
下水道事業

青梅市の下水道

～役割・今・未来～



自然と環境を保ち
清潔で快適な生活を守るため
どうしても利用者の皆様に
負担をお願いすることもございます

青梅市としても持続可能な
下水道サービスの提供に
取り組んでまいりますので
ご理解、ご協力をお願いします



青梅市
下水道事業